

【各種契約と法的リスク軽減方法】 洋上風力発電プロジェクトの契約実務と最新論点

【講師】

バーカー&マッケンジー法律事務所 (外国法共同事業) パートナー 弁護士 江口 直明 氏

日本での洋上風力発電の開発及びファイナンスに資する最新論点、情報を提供する。

実際に洋上風力発電を推進するための各種契約と法的リスクの軽減方法について、北九州響灘の港湾洋上風力発電 (220MW)、長崎県五島市沖浮体式洋上風力案件 (16.8MW)、現在交渉を担当しているRound 2の一般海域の洋上風力案件その他の日本及び海外の洋上風力案件の契約交渉の経験に基づいて解説する。洋上風力発電案件は公募が伴うため、公募で勝つためには、各種契約の相手方には厳しい価格条件が要求されてきた。そのため、洋上風力発電機メーカー、EPCコントラクター、SEP船提供者は、利益を出すことができない状況になってきている。よって、これらの事業者は契約上のリスクを極力少なくしようと交渉してくるため、交渉が難化かつ長期化する傾向にある。洋上風力発電事業ではリスクが大きいと、タービン供給契約を含めた一括工事請負をする業者が少なく、契約は少なくともタービン供給契約とその他の工事の契約に分割発注されることが多い。そのため、各契約のインターフェースが重要となり、各契約の整合性を取って、漏れがないように契約を作りこむ必要がある。また、施設の価値の大きな部分を占める、風力発電機の購入契約 (Turbine Supply Agreement)は製造期間を見込んで、かなり前段階から交渉し、発注をかけなければならない。また、発電機以外の工事請負契約も洋上での作業が中心となるため、洋上工事特有の点、特に遅延リスクに配慮しなければならない。大規模な資金調達のためには、洋上風力発電に適したプロジェクト・ファイナンスの融資契約・担保契約を作成・交渉しプロジェクトを組成していく必要がある。

【重点講義項目】

1. 日本の洋上風力発電のRound 1&2の公募の振り返りと
修正された公募ルールRound 3への備え
2. 欧州・台湾の洋上風力発電
3. 風力発電機供給契約 (Turbine Supply Agreement)
4. 洋上風力発電所建設契約 (Balance of Plant Construction Agreement)
5. 洋上風力発電所サービス・補償契約 (Service & Warranty Agreement)
6. 洋上風力発電所運営契約 (O&M Agreement)
7. 港湾利用埠頭賃貸借契約
8. 洋上風力発電のプロジェクト・ファイナンス
9. スポンサーサポート契約
10. 関連質疑応答

※当セミナーの録音、転送、スクリーンショット、撮影等はお断りしております。社内弁護士を除く、弁護士の方のご参加はご遠慮頂いております。
テキストは紙資料では無く、PDFの配布となりますのでご了承下さい。

講師略歴

バーカー & マッケンジー法律事務所、金融グループ所属、再生可能エネルギーグループのリーダー、取扱風力案件：港湾洋上風力3件(響灘220MW等)、長崎県五島市沖浮体式洋上風力案件で戸田建設様を主体とする事業者の代理等ラウンド1一般海域洋上風力発電入札支援2件等、ラウンド2落札者を支援して、TSA、SAA交渉、洋上風力合計1GW超、北海道幌延、北海道さらきとまない、北九州響灘、青森県六ヶ所村、愛媛県三崎町、秋田県八竜、石川県輪島、秋田港等、陸上風力累計17件、300MW超、取扱太陽光案件：丸紅大分82MW、ソフトバンクエネルギー苫東安平111MW等の大規模案件、累計250件超、3,000MW超、屋根貸し案件、Corporate P P A、取扱バイオマス案件：吾妻木質バイオマス発電 (13MW)、向浜バイオマス発電 (20MW)、石狩バイオマス50MW、50MWx5と75MWx3の輸入木質バイオマス発電案件等累計500MW超、IGCC福島石炭ガス化複合発電1,080MW (3,000億円超)、相馬港天然ガス火力発電1,180MW (1,400億円) 等プロジェクトファイナンス。

1986年一橋大学法学部卒業、1988年東京弁護士会登録、1992年ロンドン大学 (UCL) 法学修士 (国際ビジネス法) 取得、1993年バーカー & マッケンジーロンドン事務所勤務、内閣府PFI推進委員会専門委員 (2010年~2020年) 日本風力発電協会 (JWPA) 洋上風力金融タスクフォースリーダー。主な論文：「洋上風力発電金融ガイドブック Vol. 1 /Vol. 2」(共著JWPA 2021/2022)、「日本におけるプロジェクト・ファイナンスの立法課題」(ジュリスト1238号) 他

【開催日時】 2024年3月27日(水) 13時30分～15時30分 (13時10分よりオンライン受付開始)

【受講方法】 ①Zoom (オンライン) 受講 各自のPC等でご聴講下さい。
* Zoomの使用が可能かどうかをお申込み頂く前にご確認ください。PCや社内の規定で使用できない場合もございます。
②後日録画受講(当日都合が合わない方への配信となります。上記①の参加者を対象とした録画配信は行っておりません。録画は配信日より1週間、何度でもご都合よい時間に視聴できます。なお、講師への質問はできません。) *配信日は開催日の1週間後頃になります。(Vimeo使用)

【参加費】 1名 26,510円 (24,100円+消費税) 2名 (同一法人) 同時申込 46,420円 (42,200円+消費税)
注1) 同時申込料金は、同時申込以外の場合は適用されませんのでご了承下さい。
注2) 振込手数料はご負担願います。 注3) オンライン聴講に必要な通信料は含まれておりません。

【申込方法】
下記の申込欄をご記入の上、FAXにてお申込下さい。Eメールにてお申込をされる場合は下記申込内容と同内容をご送信下さい。(フォームはご自由にて結構です。)お申込みを頂きますと、ご請求書をお送り致します。テキストは開催日までにメール致します。

申込み先 株式会社日本ナレッジセンター 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-12-12 虎ノ門石田印房ビル
TEL:03-5511-8668 FAX:03-5511-0707 Eメール: info@jkcc.jp

【ご受講の流れ】
お申込みを頂きましたら、メールにてご案内申し上げます。

【お申込み条件/必ずご確認くださいませようお願い致します】

- セミナー参加費の振込手数料は貴法人にてご負担下さいますようお願い致します。
- 参加費は原則としてセミナー開催前までに指定の銀行口座へお振込み下さいますようお願い致します。
セミナー聴講後のお振り込みとなる場合は、下記の申込書内の「お振込み予定日」を必ずご記入下さい。
ニホンナレッジセンター
振込先:みずほ銀行 新橋支店(店番号130) 普通 2288581 口座名:株式会社日本ナレッジセンター
- 受講料1名につきまして、1名の方のご聴講をお願いしております。
* 複数名での聴講や第三者へ動画の転送、動画の録画、録音等はご遠慮下さい。

キャンセル(お申込み後の取消し)について、お申込前に十分にご確認下さい。

注) キャンセルをされる場合は、履歴を残す都合上、FAX又はEメールにてご連絡下さい

【キャンセル料】①開催日より7日前まで(土日及び祝日を除く)・・・無料 (3月18日迄)

注) お客様のご都合によりキャンセルされる場合、返金時の振込費用をご負担下さいますようお願い致します。

②開催日より6日前から(土日及び祝日を除く)・・・参加費の全額 (3月19日以降)

注) ②の場合はセミナー資料の送付または代理人の出席をもって参加とさせて頂きまますので、ご了承下さいますようお願い申し上げます。また、開催前日までに振込みが完了していない場合でもキャンセル料はかかりますのでご注意ください。

申込書【240320】このままFAXにてお送り下さい、着信のご連絡を申し上げます。 月 日 (ご記入者名:)

ご希望の聴講方法を☑して下さい。		<input type="checkbox"/> ①Zoom(オンライン)受講	<input type="checkbox"/> ②録画受講
会社・団体名			
参加者ご氏名	フリガナ	所属部署・役職名	
TEL	FAX		
Eメールアドレス	◆セミナー告知のメール配信を希望される方は☑して下さい。 希望する <input type="checkbox"/>		
所在地(請求書のご送付先)	<input type="checkbox"/> ご記入者宛	<input type="checkbox"/> ご参加者宛	<input type="checkbox"/> PDFのみ(郵送不要) ◆ご請求方法を☑して下さい。
〒 -			
* 備考欄			
お振込み予定日 (聴講開始後のお振込みの場合のみ記入)		年	月 日

・ 当日は出席者(団体名)リストの配布を致しません。・ 講師へ団体名、部署、役職、氏名、メールアドレスを連絡しております。

ご記載頂きましたお客様の個人情報は、厳正な管理下で安全に保管し、当該セミナーに関する業務の処理及び今後のセミナーのご案内に利用させて頂きます。また、当該セミナー講師以外の第三者へ情報を提供することはありません。

◆個人情報についてのお問合せ先:

〒105-0001 港区虎ノ門1-12-12 株式会社日本ナレッジセンター 電話 03-5511-8668 info@jkcc.jp